

## 物流の現状と物流における

### 第4次産業革命への対応

日時： 6月9日(土)13:00-16:30

会場： 滋賀大学彦根キャンパス〈士魂商才館〉3階セミナーI

日本経済を支える物流の根幹である高速道路の自動車輸送は、高齢化・長時間労働・人手不足、非効率な運搬方式が重なり危機に瀕しています。それを根本的に解決すべく、ビッグデータとAI、IoT、データサイエンスを駆使した自動運転輸送と新交通システムの構築が、第4次産業革命の中核として進められています。こうした波は、新名神高速の開通とともに近畿にも押し寄せています。

今回、産・官・学の各方面から斯界の専門家をお呼びして、物流の現状と問題点を明確にし、第4次産業革命への対応について、自動運転と新交通システム、DSの役割等に焦点を当てて皆様と考える参りたいと存じます。皆様、こぞってご参加ください。

主催： 滋賀大学経済学部      コーディネータ： 滋賀大学経済学部教授 筒井正夫  
参加費： 無料（参加の事前届け出は不要です）

#### <プログラム>

##### ◆ 開会のあいさつ

滋賀大学経済学部長 田中英明

第1部 講演 13:00~15:30

##### ◆ 「自動運転の動向について」

国土交通省自動車局次長 島 雅之

##### ◆ 「自動運転時代の物流生産性革命」

株式会社複合物流代表取締役 筒井公平

##### ◆ 「交通・物流の第4次産業革命とデータサイエンスの意義」

滋賀大学データサイエンス学部長 竹村彰通

第2部 質疑応答 15:30~16:30

##### ◆ 総括コメント

三菱地所株式会社物流施設事業部担当部長 松本 弘

##### ◆ 会場からの質問と各講演者からのコメント

##### ◆ 閉会のあいさつ

滋賀大学経済学部教授 コーディネータ 筒井正夫

お問い合わせ： 滋賀大学経済学部 tel.0749-27-1047（経済経営研究所）